

平成30年度燕市観光協会事業報告及び収支決算報告について

1. 観光イベント開催事業

15,918,279円

(1) つばめ桜まつり (事業費 12,505,325円)

「つばめ桜まつり」期間中は天候に恵まれず、4月7日のさくらフェスと4月15日の「分水おいらん道中」は屋内開催となりましたが、関連団体との協力体制が充実したことにより、事故や混乱なく開催することができました。

運営委員会、地域関連団体、高校生ボランティアスタッフ、多くの協力を得て、「つばめ桜まつり」期間中、延べ34,000名の入込みとなりました。

◎つばめ桜まつり 4月 7日(土)～22日(日)

- ・夜桜ライトアップ 4月 7日～22日
(大河津分水堤防・JR分水駅・文化会館前中ノ口川堤防)
- ・燕市交通公園&こどもの森さくらフェス 4月 7日(土)
- ・第76回分水おいらん道中 4月15日(日)
- ・吉田ふれあい広場さくらフェス 4月22日(日)

(2) 酒呑童子行列 (事業費 3,412,954円)

事前のPR活動から運営委員会や地域関連団体、市内3高校などから多くの協力を得て、当日は台風の影響が懸念される中、ウェブ申込体制を整えたことで、行列参加者総数221名を含め、会場周辺入込数は延べ7,000名となりました。

さらに、地域団体の協力を得て、国上山を下る行列も実施することができました。

なお、前年度は大雨災害により中止となった福知山市の酒呑童子まつりへ参加し、燕市の酒呑童子行列のPR活動及び鬼関連自治体と交流を図りました。

◎第14回酒呑童子行列 9月30日(日)

2. 受託事業

10,603,709円

(1) つばめ「おもてなし力」アップ事業 (事業費：7,046,434円)

国内はもとより、海外からの視察に対して燕市を訪れる観光客のおもてなし、産業観光資源の案内に取り組み、更にJRのトランスイート四季島の案内役もつとめ、多くのお客様よりご満足いただきました。

また、昨年から引き続き市内の観光ボランティアガイド団体等への活動支援を強化し、ホスピタリティの向上とガイドの育成を支援しました。

◎観光ナビゲーター稼働実績

- ・別紙参照

◎各種ボランティアガイド団体の活動支援

- ・国上山ボランティアガイドはちの子会による国上山周遊ガイド等
4月～11月 計3,067名
- ・里山花とみどりの会によるエコトレッキングツアー
年間6回開催 計128名の参加者
- ・ネットワークみどり緑による薬草観察と薬膳料理
年間2回開催 計33名の参加者

(2) 観光振興事業支援業務(地域おこし活用) (事業費：2,055,708円)

観光コーディネーター及びガイドとして、地域おこし協力隊を採用し、SNS等を活用した情報発信を行いました。

(3) つばめ情報発信戦略事業 (事業費：1,501,567円)

情報発信の充実化を図るため、当協会ウェブサイト内の産業観光ページの修正、動画の作成、商談用にタブレット導入などを行いました。

また、情報漏えい等を防ぐために、現在使用しているパソコンを含め、各種システム等の管理体制を整えました。

3. 観光プロモーション事業

1,469,326円

(1) 観光プロモーション事業

(事業費：1,469,326円)

燕の魅力を情報発信して行くためのツールであるパンフレット等の作成・増刷や、各種パブリシティ等の活用の他、公共施設等に告知展開を図り、知名度向上と誘客促進を図りました。

- ・新聞広告掲載などによる広報活動（毎日新聞、三條新聞、新潟日報など）計8回
- ・県内テレビ広告による広報活動 計1回
- ・体験パンフレット制作 10,000部
- ・工場カード作成（6企業） 各2,000枚
- ・燕市釜めしマップ 10,500部

4. 観光資源活用事業

576,635円

(1) 産業観光体験開催事業

(事業費：327,590円)

これまで産業体験の開催場所となっていた産業史料館のリニューアル工事に伴い、道の駅国上を会場として、新たな客層、需要の取り込みを目指すとともに、今後継続実施する上での調査を行いながら開催しました。

また、事前予約優先としながら、体験実施当日も随時受付を行い、予約不要による体験内容と併せて、新たな形式にて実施しました。

- ・鎚起銅器の小皿づくり体験 年間11回開催 参加者数 158名
- ・「木の葉の箸置きづくり彫金体験 年間5回開催 参加者数 32名

(2) 他団体支援事業

(事業費：186,256円)

① 八王寺白藤保存育成事業

(事業費：95,324円)

新潟県指定天然記念物である八王寺安了寺の白藤の見頃に開催される、藤まつりの継続実施を目的に、大白藤の保存活動に取り組まれている、八王寺大白藤保勝会の活動を支援しました。また、開花状況を随時把握し、お問合せに対応するなど、SNSでの情報発信にも努めました。

② 萬燈紹介広告事業 (事業費：47,608円)

木場小路萬燈組と横町萬燈保存会等と連携を図り、地域の歴史ある伝統行事の広報ポスター制作に関わる支援を行うとともに、行事開催の告知を行いました。

③ 拓本体験教室開催 (事業費：43,324円)

分水拓本研究会の指導により、酒吞童子行列開催にあわせ、名僧良寛さまの碑や酒吞童子の拓本体験を開催しました。

・協会主催年間2回開催（酒吞童子行列前日・当日） 参加者数 計100名

(3) 国上山山開き事業 (事業費：10,000円)

国上山登山シーズンの幕開けとして、早春の山野草が咲き誇る時期にあわせ、平成31年3月24日に登山者の無事を願い、安全祈願祭を行いました。

(4) まちあるき事業 (事業費：51,789円)

地域観光の基本でもある「まちあるき」を、地域の方々の協力により実施しました。

◎燕三条まちあるき

・春2コース、秋4コース、計6コース開催 参加者数 計42名

燕市観光協会運営費

20,329,455円

(1) 運営体制

従来の協会職員3名に加え、燕市からの派遣職員3名、臨時職員の観光ナビゲーター2名、さらに地域おこし協力隊の1名と合計9名にて業務体制の強化を行いました。

業務の多様化による消耗品費の増加、また、消費税の支払いなどにあわせ、各種発送物の増加・サーバー変更に伴う通信費の増加するなか、業務の見直し等をはじめ、各種経費削減に努めてきました。